

話餘人華 語物風吳

首狩りを 止めさせるための 吳鳳の熱心さ

○陳内松 飾

即ち首を狩ることを止めること、これが吳鳳の熱心さである。首狩りは、台湾の原住民の風習で、首を狩ることは、その部族の威光を増すこととされていた。吳鳳は、この風習を止めるために、多くの犠牲を払った。彼女は、首狩りを止めるために、多くの犠牲を払った。彼女は、首狩りを止めるために、多くの犠牲を払った。



物品の使用価値 廃物の着物は

○大妻コタカ女史談

物品の使用価値、廃物の着物は。物品の使用価値、廃物の着物は。物品の使用価値、廃物の着物は。物品の使用価値、廃物の着物は。物品の使用価値、廃物の着物は。



明治の輝き

文部省の製作完成

明治の輝き、文部省の製作完成。明治の輝き、文部省の製作完成。明治の輝き、文部省の製作完成。明治の輝き、文部省の製作完成。明治の輝き、文部省の製作完成。

シヤムへ派。シヤムへ派。シヤムへ派。シヤムへ派。シヤムへ派。シヤムへ派。シヤムへ派。シヤムへ派。シヤムへ派。シヤムへ派。

非常に効果の多い 米糠食の流行

その美味い食べ方
薬効効用いづく

非常に効果の多い米糠食の流行。その美味い食べ方、薬効効用いづく。非常に効果の多い米糠食の流行。その美味い食べ方、薬効効用いづく。非常に効果の多い米糠食の流行。その美味い食べ方、薬効効用いづく。

赤ん坊の便で
容態を判断

白菜の
漬け方

青来閣
城大講演會

映畫と演藝
明治の輝き

将棋新手法

将棋新手法、将棋新手法。将棋新手法、将棋新手法。将棋新手法、将棋新手法。将棋新手法、将棋新手法。将棋新手法、将棋新手法。

大鑑定

大鑑定、大鑑定。大鑑定、大鑑定。大鑑定、大鑑定。大鑑定、大鑑定。大鑑定、大鑑定。大鑑定、大鑑定。大鑑定、大鑑定。大鑑定、大鑑定。

シアラ嬢の感傷

シアラ嬢の感傷、シアラ嬢の感傷。シアラ嬢の感傷、シアラ嬢の感傷。シアラ嬢の感傷、シアラ嬢の感傷。シアラ嬢の感傷、シアラ嬢の感傷。シアラ嬢の感傷、シアラ嬢の感傷。

海外映畫茶話

海外映畫茶話、海外映畫茶話。海外映畫茶話、海外映畫茶話。海外映畫茶話、海外映畫茶話。海外映畫茶話、海外映畫茶話。海外映畫茶話、海外映畫茶話。

オキシヘーラー

オキシヘーラー、オキシヘーラー。オキシヘーラー、オキシヘーラー。オキシヘーラー、オキシヘーラー。オキシヘーラー、オキシヘーラー。オキシヘーラー、オキシヘーラー。

吉岡定男商店

吉岡定男商店、吉岡定男商店。吉岡定男商店、吉岡定男商店。吉岡定男商店、吉岡定男商店。吉岡定男商店、吉岡定男商店。吉岡定男商店、吉岡定男商店。

儒城ラヂウム温泉

儒城ラヂウム温泉、儒城ラヂウム温泉。儒城ラヂウム温泉、儒城ラヂウム温泉。儒城ラヂウム温泉、儒城ラヂウム温泉。儒城ラヂウム温泉、儒城ラヂウム温泉。

牛乳后給

牛乳后給、牛乳后給。牛乳后給、牛乳后給。牛乳后給、牛乳后給。牛乳后給、牛乳后給。牛乳后給、牛乳后給。牛乳后給、牛乳后給。

味噌

味噌、味噌。味噌、味噌。味噌、味噌。味噌、味噌。味噌、味噌。味噌、味噌。味噌、味噌。味噌、味噌。

菊正宗

菊正宗、菊正宗。菊正宗、菊正宗。菊正宗、菊正宗。菊正宗、菊正宗。菊正宗、菊正宗。菊正宗、菊正宗。菊正宗、菊正宗。

小売市場

小売市場、小売市場。小売市場、小売市場。小売市場、小売市場。小売市場、小売市場。小売市場、小売市場。小売市場、小売市場。

牛乳后給

牛乳后給、牛乳后給。牛乳后給、牛乳后給。牛乳后給、牛乳后給。牛乳后給、牛乳后給。牛乳后給、牛乳后給。牛乳后給、牛乳后給。

京
城
日
報

若し本全集が滿天下の諸君に讀まれぬとすれば、私は日々立つても叫ばなければならぬ。何故ならば、現代の日本が切實に痛感して居るものは何か？それは「金」である。緊縮と呼び、節約と叫び、官民緊つて必死の奮闘を致すの秋金を支つてゐるの熟練に迂遠なる日本人が所期の目的を達し得るや否やと云ふことを危ぶむからである。米國は一九二〇年に小學校の教程に金銭教育を取入れ、今や漸々其實績を收め學を根底から覆して居る。恐るべき十年後、十五年後の金銭教育に徹底した經濟人と、金銭觀念に冷淡な日本人と如何やうな交渉が行はれるか。日本は要如たる場合でない。(第六卷)

豫約募集

切以
日七廿月二十

第一回配本

岡辰大福帳

始開本配日一月二十

內容見本進呈

申込略規

本年十月より毎月一冊
宛預約本、分頁です
合費

毎月拂 一冊 四冊
一時拂 十二冊 十四冊
五十圓

送料 一冊 十二圓宛

振替東京二四八六一
電話三橋四二三六七

春秋社

鑄料大阪神戸見學旅行入學生の特典
 公認
自動車運轉士
 成義
 現職 經明手對人稱讚
 北朝鮮自動車研究所

世界現象

當代無比の書

吾等の日常生活は直接間接
斷えず大小の國際的事象に影
響されて居る。國運の展開、各
人の利福は勿論、人間生命の長
短や朝夕心氣の快不快迄が世界
を知ると否とに係る。世界現狀
大觀！は其の内容と體裁より觀る
も其の執筆者の顔貌と配列とに於
て各方面より容易く世界の表裏
を知る讀物として正に當代無比だ
この有意義な、しかも他に類例なき
出版物は、眞に文字通り興味と實
益との一大交響樂だ。私は我が國民
各員の無くてはならぬ相談相手とし
て心から本書を世に推薦する。

小村 欣一

幣原外務大臣閣下より
本書を以て、最も時宜に適せる出版な
りとして、推薦せられたり。

白耳義大使閣下
 フラジル大使閣下
 英吉利^{代理}大使閣下
 佛蘭西大使閣下
 獨逸大使閣下
 伊太利大使閣下
 ソウエート大使閣下
 土耳其古大使閣下
 加奈陀公使閣下
 智利公使閣下
 丁抹公使閣下
 墨西哥公使閣下
 墨蘭公使閣下
 暹羅公使閣下
 瑞西公使閣下

既に併稱みの
 の發を掲ぐ
 國名を凡し順
 ◆◆◆◆◆

本書は朝野各
 方面の識者の
 贊助と公私有
 力機關の後援
 行の運びに到
 つたもので、
 諸外國大使公
 使は本書を以
 て國際的最有
 意義の出版な
 りとし、特別
 の贊助を與へ
 たる。既に貴重
 なる資料を提
 供し、種々指導
 を賜はれる向
 きもある。本
 書の内容は、一
 層の優秀を加
 へ、愈々眞價値
 を増すべきは
 言を俟たない
 ◆◆◆◆◆

第一回 配本
獨逸共和國篇

努力は遂に第一の書！
天下第の書！
この評語は、
出版界の微
出の如くに認
たの感謝したい。

卷十二 (申込金不要)
 冊壹圓八拾錢
 内容見本進呈
 東京・牛込・矢來
 新潮社

研究

晝間
夜間
(星期卒)

平 北 理 店	思 北 道 代 理 店	思 南 道 代 理 店	慶 北 道 代 理 店	慶 南 總 代 理 店	笠 山 大 倉 町 二 丁 目 ヤ ン マ ン 新 日 本 支 店
威 興 大 和 町	平 磯 町 物 店 開 張	江 段 仲 町	仰 州 本 町	加 藤 支 店	流 美 町
吳 仁 塔	高 島 田	豐 商	豐 商	豐 商	會 社
物 店	商 會	商 會	商 會	商 會	會 社

本機は卓越せる理科學の原理に基き、永年苦心研究の上數年前發賣以來斯界の驚異する所となり、薏米の優良と能率の優秀は此種機械中一頭地を抜き各方面の好評を博し本年一月豐林省發表の比較審査に於て全國各種類摺機中甲種第一位入選の榮冠を負ひてより全國的に眞價を認められ壓倒的歡迎を受け朝鮮、臺灣は固より内地縣農會と一手販賣を契約する等官民兩方面より御聲援を受けるに至れり 本機は特許

發賣元 大坂 瑞光社
京城驛前(ヤシマー發動機發賣元)
總代理店 山岡發動機京城支店
電話 本局一〇〇三番
替替 京城一一五二五番

活動寫真應用教育

● 容易切
● 設備完全
● 設備優良
● 設備優良
● 設備優良
● 設備優良
● 設備優良
● 設備優良
● 設備優良
● 設備優良

● 設備優良
● 設備優良
● 設備優良
● 設備優良
● 設備優良
● 設備優良
● 設備優良
● 設備優良
● 設備優良
● 設備優良

養成



新フォード練習開始

大連北山通二〇三

大連北山通二〇三

最新の設備による
運轉手
晝間部
夜間部
(短期卒)

社説

自然力に反対

不可抗力に打ち勝つ

自然力に打ち勝つ。これは、人類の歴史を通じて、最も偉大な功業の一つである。人類は、自然の威力に打ち勝つことによって、文明の発展を遂げた。自然力に打ち勝つとは、人類の能力の限界を突破することである。人類は、自然の威力に打ち勝つことによって、文明の発展を遂げた。自然力に打ち勝つとは、人類の能力の限界を突破することである。人類は、自然の威力に打ち勝つことによって、文明の発展を遂げた。自然力に打ち勝つとは、人類の能力の限界を突破することである。

米調會社の促進を促す

米調會社の促進を促す。米調會社は、米の生産と消費を調整するための重要な機関である。米調會社の促進を促すことは、米の生産と消費のバランスを保つために必要である。米調會社の促進を促すことは、米の生産と消費のバランスを保つために必要である。

労働者を救済する

労働者を救済する。労働者は、社会の基盤である。労働者を救済することは、社会の安定と発展のために必要である。労働者を救済することは、社会の安定と発展のために必要である。

窮乏に打ち勝つ

窮乏に打ち勝つ。窮乏は、人類の最大の敵である。窮乏に打ち勝つことは、人類の文明の発展のために必要である。窮乏に打ち勝つことは、人類の文明の発展のために必要である。

浦鹽の昨今

浦鹽の昨今。浦鹽は、日本の重要な資源である。浦鹽の昨今を調査することは、浦鹽の生産と消費の状況を把握するために必要である。浦鹽の昨今を調査することは、浦鹽の生産と消費の状況を把握するために必要である。

農工民族

農工民族。農工民族は、日本の主要な労働力である。農工民族の生活水準を向上させることは、日本の経済発展のために必要である。農工民族の生活水準を向上させることは、日本の経済発展のために必要である。

耕作方法

耕作方法。耕作方法は、農業生産の効率を向上させるために必要である。耕作方法を改良することは、農業生産の効率を向上させるために必要である。

航空火災防止

航空火災防止。航空火災防止は、航空機の安全を確保するために必要である。航空火災防止を強化することは、航空機の安全を確保するために必要である。

自給自足経済

自給自足経済。自給自足経済は、国家の経済的自立を確保するために必要である。自給自足経済を推進することは、国家の経済的自立を確保するために必要である。

朝鮮無煙炭

朝鮮無煙炭。朝鮮無煙炭は、日本の重要な資源である。朝鮮無煙炭の生産と消費を調査することは、朝鮮無煙炭の生産と消費の状況を把握するために必要である。朝鮮無煙炭の生産と消費を調査することは、朝鮮無煙炭の生産と消費の状況を把握するために必要である。

消費高

消費高。消費高は、国民の生活水準を向上させるために必要である。消費高を促進することは、国民の生活水準を向上させるために必要である。

間島の警備

間島の警備。間島の警備は、国家の安全を確保するために必要である。間島の警備を強化することは、国家の安全を確保するために必要である。

高速道路

高速道路。高速道路は、交通の効率を向上させるために必要である。高速道路を建設することは、交通の効率を向上させるために必要である。

全鮮自動車

全鮮自動車。全鮮自動車は、日本の重要な資源である。全鮮自動車の生産と消費を調査することは、全鮮自動車の生産と消費の状況を把握するために必要である。全鮮自動車の生産と消費を調査することは、全鮮自動車の生産と消費の状況を把握するために必要である。

監獄法改正

監獄法改正。監獄法改正は、刑罰の執行を改善するために必要である。監獄法改正を推進することは、刑罰の執行を改善するために必要である。

朝鮮村落一里當り

朝鮮村落一里當り。朝鮮村落一里當りは、朝鮮の農村生活を調査するために必要である。朝鮮村落一里當りを調査することは、朝鮮の農村生活を調査するために必要である。

朝鮮村落一里當り。朝鮮村落一里當りは、朝鮮の農村生活を調査するために必要である。朝鮮村落一里當りを調査することは、朝鮮の農村生活を調査するために必要である。

文藝春秋

酒の交遷

明治から昭和への
酒の交遷

随筆 高橋 随筆 三十二篇

送年 弱き者が勝ち 馬場恒吉
昭和五年の財界を送る 小林一三
ジャナリズム一九三〇 千原 龍雄
凶作 トスカニ一の眼頭 山田耕作
今年美術界概観 森田恒友
一九三〇年文壇を送る 近松秋江

物質への情熱 文藝 小林秀雄
鳴澤先生 尾崎士郎
穴の中の眼 舟橋聖一
女をリアカに乗る 石濱金作
没落者 小石 金作

雑記 南園大平記 菊池寛
共同製作小感 金井 洋子
二賞の長篇 橋本 真一
共同製作と組織の生産 橋本 真一

小栗上野介と魯艦問題 吉田 絃一郎
洒落澤庵 武内 初太郎
政界夜話 城 土南
温泉街八景 小池 利兵衛
轉落する肉體 利兵衛

死刑囚の唄 死で喰ふ 死商賣
女學生氣質 死で喰ふ 死商賣
なくて七癖語 死で喰ふ 死商賣

護明狂時代 堤北六

12月号

耕土は肥沃に 農民は勤勉に

堆肥製造に現れた活路

北内河村に於いては、農業の盛衰は、農民の勤勉と耕土の肥沃に、その主眼がある。然るに、この二つは、互に表裏をなすものである。農民が勤勉に耕すれば、耕土は肥沃になり、耕土が肥沃になれば、農民は更に勤勉に耕す。この循環は、農業の発展の基盤である。北内河村の農民は、この循環を断つて、堆肥製造に現れた活路を見出した。堆肥は、耕土を肥沃にするための重要な要素であり、農民は、堆肥の製造に力を注ぎ、耕土の肥沃度を向上させた。この結果、農産物の収穫量は大幅に増加し、農民の生活も豊かになった。堆肥製造は、農業の発展のための重要な手段であり、農民は、この手段を積極的に活用し、農業の発展に貢献した。

開城學費議

開城學費議

開城學費議

開城學費議

開城學費議

開城學費議

開城學費議

開城學費議

開城學費議

開城學費議

米を積んで難船

米を積んで難船

米を積んで難船

米を積んで難船

米を積んで難船

米を積んで難船

米を積んで難船

米を積んで難船

米を積んで難船

米を積んで難船

忠清北道

忠清北道

忠清北道

忠清北道

忠清北道

忠清北道

忠清北道

忠清北道

忠清北道

忠清北道

官塩元賣捌店

官塩元賣捌店

官塩元賣捌店

官塩元賣捌店

官塩元賣捌店

官塩元賣捌店

官塩元賣捌店

官塩元賣捌店

官塩元賣捌店

官塩元賣捌店

清州に設置要望

清州に設置要望

清州に設置要望

清州に設置要望

清州に設置要望

清州に設置要望

清州に設置要望

清州に設置要望

清州に設置要望

清州に設置要望

小賣相場暴騰す

小賣相場暴騰す

小賣相場暴騰す

小賣相場暴騰す

小賣相場暴騰す

小賣相場暴騰す

小賣相場暴騰す

小賣相場暴騰す

小賣相場暴騰す

小賣相場暴騰す

清州の植桑

清州の植桑

清州の植桑

清州の植桑

清州の植桑

清州の植桑

清州の植桑

清州の植桑

清州の植桑

清州の植桑

矢張り

矢張り

矢張り

矢張り

矢張り

矢張り

矢張り

矢張り

矢張り

矢張り

依然有利だ

依然有利だ

依然有利だ

依然有利だ

依然有利だ

依然有利だ

依然有利だ

依然有利だ

依然有利だ

依然有利だ

修養園の

修養園の

修養園の

修養園の

修養園の

修養園の

修養園の

修養園の

修養園の

修養園の

一夜講習會

一夜講習會

一夜講習會

一夜講習會

一夜講習會

一夜講習會

一夜講習會

一夜講習會

一夜講習會

一夜講習會

修養園の

修養園の

修養園の

修養園の

修養園の

修養園の

修養園の

修養園の

修養園の

修養園の

修養園の

修養園の

修養園の

修養園の

修養園の

修養園の

修養園の

修養園の

修養園の

修養園の

修養園の

修養園の

修養園の

修養園の

修養園の

修養園の

修養園の

修養園の

修養園の

修養園の

修養園の

修養園の

修養園の

修養園の

修養園の

修養園の

修養園の

修養園の

修養園の

修養園の

修養園の

修養園の

修養園の

修養園の

修養園の

修養園の

修養園の

修養園の

修養園の

修養園の

修養園の

修養園の

修養園の

修養園の

修養園の

修養園の

修養園の

修養園の

修養園の

修養園の

修養園の

修養園の

修養園の

修養園の

修養園の

修養園の

修養園の

修養園の

修養園の

修養園の

修養園の

修養園の

修養園の

修養園の

修養園の

修養園の

修養園の

修養園の

修養園の

修養園の

修養園の

修養園の

修養園の

修養園の

修養園の

修養園の

修養園の

修養園の

修養園の

修養園の

修養園の

修養園の

修養園の

修養園の

修養園の

修養園の

修養園の

修養園の

修養園の

修養園の

修養園の

修養園の

修養園の

修養園の

修養園の

修養園の

修養園の

修養園の

修養園の

修養園の

修養園の

修養園の

修養園の

修養園の

修養園の

修養園の

修養園の

修養園の

修養園の

修養園の

修養園の

修養園の

修養園の

修養園の

修養園の

修養園の

修養園の

修養園の

修養園の

修養園の

修養園の

修養園の

修養園の

修養園の

修養園の

修養園の

修養園の

修養園の

修養園の

修養園の

修養園の

修養園の

修養園の

修養園の

修養園の

修養園の

修養園の

修養園の

修養園の

修養園の

修養園の

修養園の

修養園の

修養園の

修養園の

修養園の

修養園の

修養園の

修養園の

修養園の

修養園の

修養園の

修養園の

修養園の

修養園の

修養園の

修養園の

修養園の

修養園の

修養園の

修養園の

修養園の

修養園の

修養園の

修養園の

修養園の

修養園の

修養園の

修養園の

修養園の

修養園の

修養園の

修養園の

修養園の

修養園の

修養園の

修養園の

修養園の

修養園の

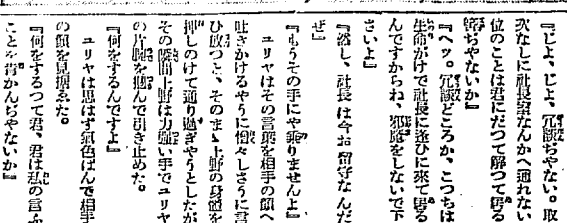
修養園の

福田正夫作
野崎貞雄畫

を罵倒した、彼女を辱めしめて居るやうに思はれた。そして今でも早寝のうちにけりたでなく、陰にて立つてかゝつて行つて悪戯お説きなれば氣がすまなかつた。そして彼女は現にバグリー則自動車を買ひ附てると、暗黒路の奥へある物販、花相をして帝國旅館の受付へ送進して行つた。然し、彼女が先

「何を言つてるのさ。私は曹詔の者ぢやないの」
「メリタは今まださうかいて、怒に満ちた聲で言つた。
「曹詔も者でもない何とも、無断を通してやらせないつて言はれて出るんでござん」と、ど、ど（二行く）
「誰かさんなことさ言ひ付けたいんでござん」と、ど、ど（三行く）
「あゝ八木さん、ど、ど（四行く）
「だれぞ、ど、ど（五行く）」

がある——と思つて、彼女は、暗黒路の奥になつて歩道を早めた。然し、彼女が、受取班の奥の前まで来た時、バグリーの親へ通じた服務部長の、癖が顔色を見て飛出して來るのにぶつゝなつた。



刻と同じやうに受付ボーイの存在
なかに無視してそこを通り過ぎや
うとした。然し刻は又つ彼女の通
り過ぎるのを見送つた。受付ボー
イが、今度はいやにまたまの口さき
開きをしてユリヤを呼び止めた。

「もしく。無断で通つては行り
ません。」

受付ボーイは一層怒態になつ
て居た。ユリヤは

「さういふ言ふことなんかない
か。必要はないわよ。」

「私は直前に逢ひに来たんですか
らね。」

「だからこつちには逢はせないと
して居るだけ。それでもないんやう
な會社の使用人でもないわ。」

ユリヤは、さういふ言ふことなん
かない。必要はないわよ。

「何だつて？」ニリヤはこんな小柄な子が眞面目にしゃをと思つて一瞬間の中が疾くも返なが、怒しんを手に相手と喧嘩をすゝで」

園基新局、(四) 矢部 前座(二男)(角形)

「お前さんなんかの知つたことぢやないから、黙つて引込んでおいで」

「これか腐爛だ！」

被された一枚の紙——それを見な瞬間、さすがに其の強いリリヤの双眸にも涙がわきあつて来た。

一二三四五六七八九十十一十二十三十四十五十六十七十八十九二十二十一二十二二十三

[illegible]

内閣は中々變でない。藩閥人ではポロイ儲けをしてゐる者が、ある日中には関が飛越さる者もある。巡査や警官を見る。世に余り儲けてゐない。税務所の警官の如き、毎日十時間以上立止つて居て、定額の食事も出さず、一年か一年半に一回つゝの俸給で風雨に耐えて

[illegible][illegible][illegible][illegible][illegible][illegible]

100

合 減 食 贅 世 以

の勢セ ぜのセ 法ホウ へ 津御ツミ には してシテ

効力きりきの物ものをを御注ごしゆは、必要ひつやの

力で 忠菜 しま か 仏度 彌 多な

有^あるを^りく^らの^り々^り

100




何 喜 必

「でも無理、古い物を要はあ

ひど
が、
こん
くな
に走り
食ひた
るまい

じきに油
 味の香
 んなに美
 なるなら
 物や
 がら
 テ

味 茶 湯 揚



新家庭
出

「日記」出來！



二百餘頁の
筆になる日
計さず、登
本の三冊の

家計簿と、料理の料理は、
々々の料理は、
々々の日記と
内容あり、定

日本館 鉛

木商店

11-Y.

味の素

この効力で有
 合せの惣菜を
 滅法界うまく
 食へるから
 贅澤御法度の
 世には、彌々
 以て必要なり



「新家庭日記」
出來！

二百餘頁の家計簿と、料理界の諸大家の筆になる日々の料理欄は斷然他の追隨を許さず、堂々たる日記と家計簿と料理體本の三冊の内容あり、定價 九十錢

宮内省御用達 味の素本舗 鈴木商店

發行所 東京太平通一丁目
合資社 東京朝日新聞社
印刷所 東京朝日新聞社
印刷人 小川三之介

震災写真

撮影に大毎寫
眞版大苦心
本報は、震災直後、大毎新聞が、
時を多し、現地に飛行し、苦心を
重ねて撮影した大津川飛行場を
取つて返す、即ち日本新聞の、
社説の飛行機に頼み込み、一版を
に送つて来たものである。

東海兩縣大震災畫報

廿六日撮影——飛行便

寫眞說明

(右)上、長岡驛
前の慘狀(正
面窓のあるの
が驛舎)下、韭
山村附近の大
龜裂
(左)上、巢雲山
の山火事下、
大場町の倒壊
家屋

